



平成27年11月11日

「国道1号静岡バイパス」パネル展を開催します ～ 国道1号静岡バイパスの整備がもたらすストック効果～

◆ 概要

国土交通省静岡国道事務所で整備を進める国道1号静岡バイパスは、平成9年の暫定2車線での開通以降、順次4車線化を進めています。

今年3月には、羽鳥・牧ヶ谷 IC のフルインター化、鳥坂 IC から千代田上土 IC 間の4車線化が完了し、現在平成30年度の全線4車線化開通を目標に牧ヶ谷 IC から丸子 IC 間の4車線化工事を行っています。

今回静岡国道事務所では、国道1号静岡バイパスの事業の進捗に伴って発現したストック効果について広く一般の方々にお知らせするとともに、国道1号静岡バイパス事業に対する理解をより一層深めていただくため、「国道1号静岡バイパス」パネル展を開催します。

※ストック効果とは

整備された社会資本が機能することによって、暮らしや地域経済に対して継続的に、中長期的に得られる効果のこと。

◆開催日時、場所

1) 日時 平成27年11月16日（月）～ 平成27年11月20日（金）

2) 場所 清水区役所 1F ロビー

（パネルの見学は開庁時間に限ります）

開催期間中の11月16日（月）10：00から30分程度、報道機関関係者向けに、静岡国道事務所副所長からパネルの説明をさせて頂く予定です。

◆配布先 静岡県政記者クラブ、静岡市政記者クラブ

◆問合せ先 国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

副所長 しんどう 新堂 いちろう 一郎 電話(054)250-8900 FAX(054)252-5747

計画課長 かとう 加藤 まさおみ 正臣 電話(054)250-8904 FAX(054)252-5739

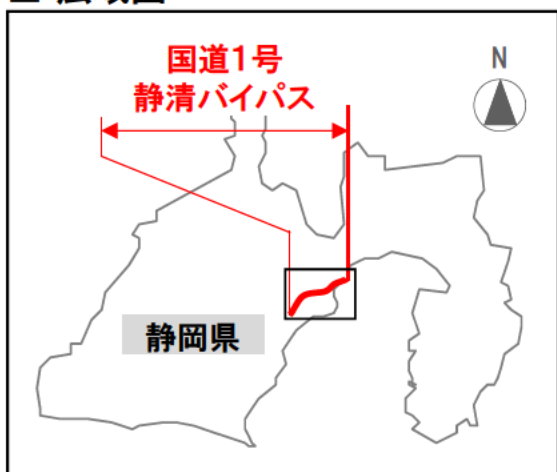


国道1号 静岡バイパス



- ・国道1号静清バイパスは、静岡市街地を通過する国道1号の交通を迂回させ、日常生活における利便性の向上・交通混雑の緩和・交通安全の確保を図る、延長24.2kmの幹線道路です。
- ・平成9年の全線暫定開通以降、順次「4車線化」を推進しており、現在は、牧ヶ谷IC～丸子IC間の4車線化（平成30年度完成予定）と清水立体化事業を進めています。

■ 広域図

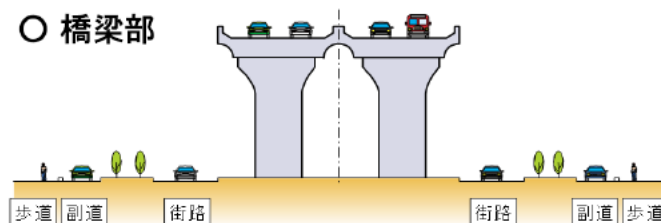


■ 路線概要

事業名	国道1号静清バイパス
延長	24.2km
道路規格	第1種第3級（一部第3種第1級）
設計速度	80km/h（一部60km/h）
車線数	完成4車線

■ 標準断面図

○ 橋梁部



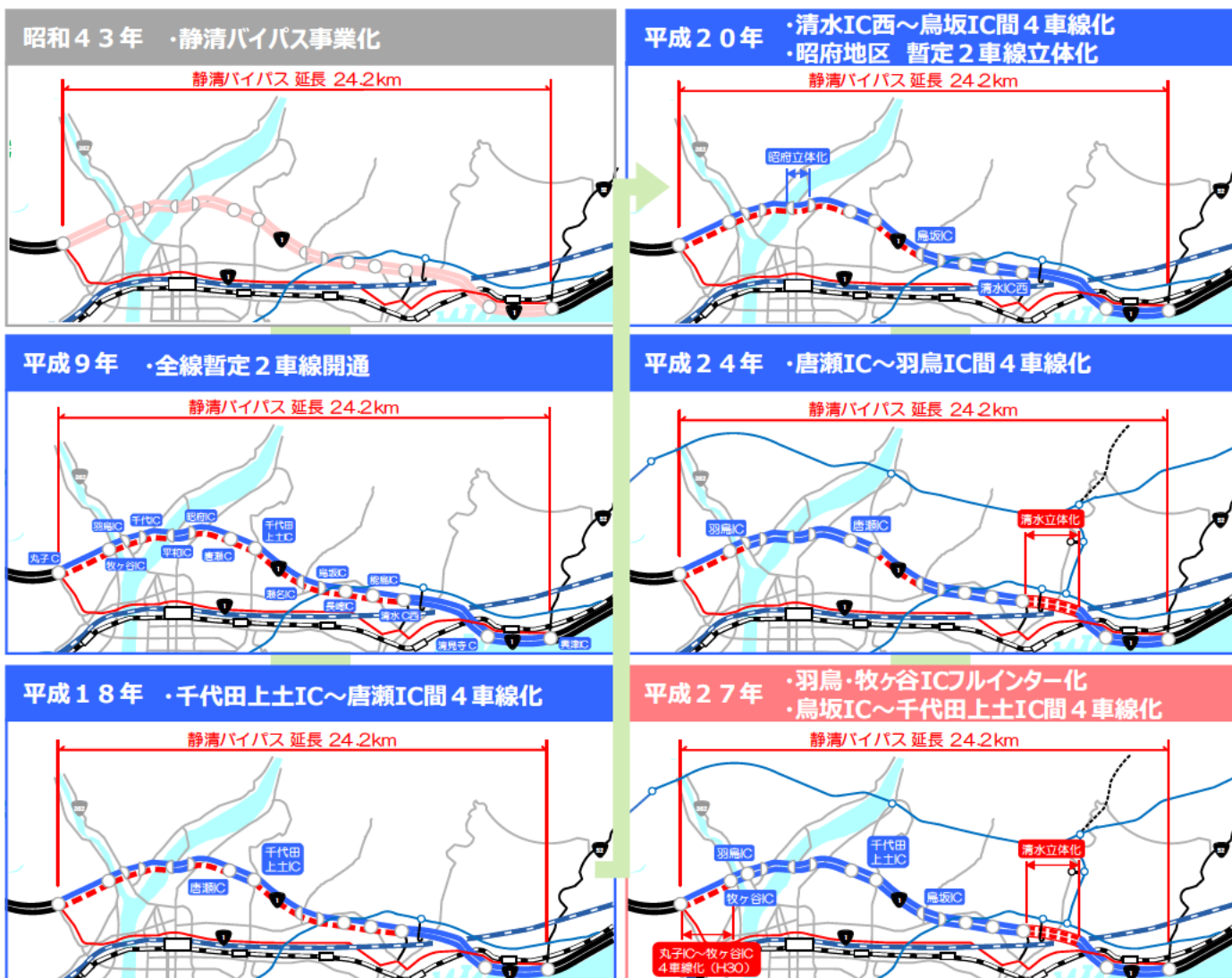
■ 静清バイパス路線図



- ・平成9年の全線暫定2車線開通以降、順次「4車線立体化」を推進しており、平成27年3月1日（日）には羽鳥・牧ヶ谷ICのフルインター化と鳥坂IC～千代田上土IC間が開通しました。

■ 事業の経緯

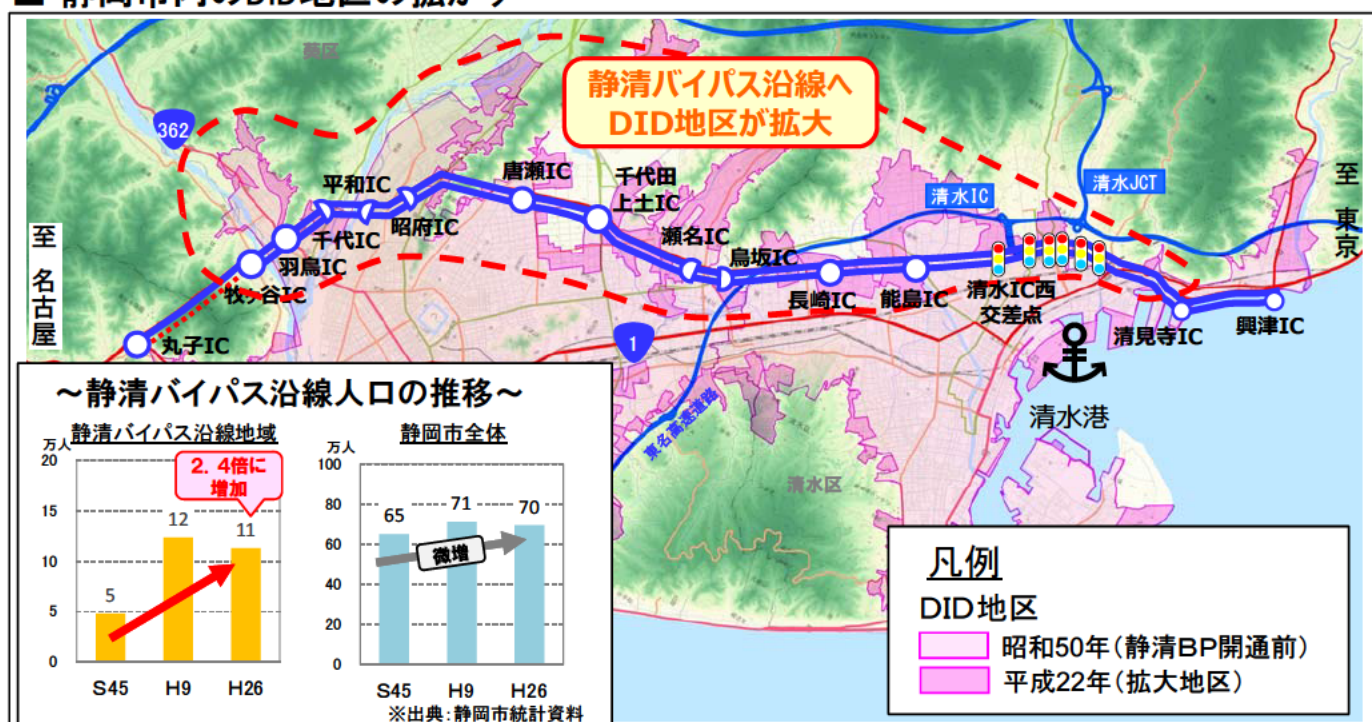
これまでの 開通経緯	平成9年3月	・全線暫定2車線開通 ※一部平面区間
	平成18年3月	・千代田上土IC～唐瀬IC間4車線化
	平成20年3月	・清水IC西～鳥坂IC間4車線化 ・昭府地区 暫定2車線立体化
	平成24年2月	・唐瀬IC～羽鳥IC間 4車線化
今回 開通	平成27年3月1日	・羽鳥・牧ヶ谷ICフルインター化 ・鳥坂IC～千代田上土IC間4車線化
今後の 予定	平成30年度（予定）	・牧ヶ谷IC～丸子IC間4車線化
	—	・清水立体化事業



沿線状況の変化

- ・静清バイパス沿線では、日常生活における利便性向上により、静岡市全体に比べて大きく人口が増加するなど、住居系の土地利用が進んできました。
- ・また、沿線地域に企業が進出し、民間需要が拡大するなど、静岡市経済や産業の発展に大きく貢献しています。

■ 静岡市内のDID地区の拡大



■ 静清バイパス沿線地域への企業進出



これまでの開通による 交通状況の変化

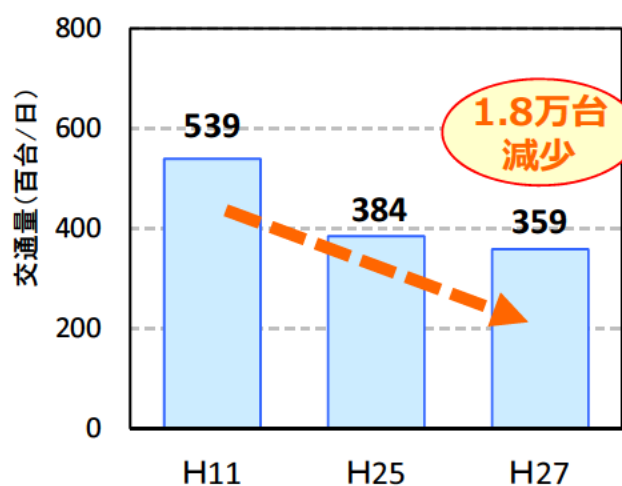
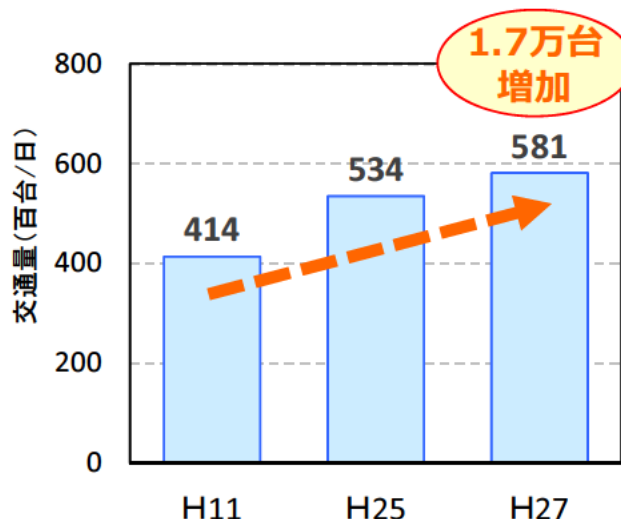
- 全線暫定2車線開通後、順次4車線立体化が進み、静清バイパスの交通量は1.7万台増加しています。
- 一方、国道1号現道の交通量は1.8万台減少しており、静清バイパスへの交通の転換が見られます。

■ 静清バイパス・国道1号現道の交通量推移



《 静清バイパスの交通量推移(断面1) 》

《 国道1号現道の交通量推移(断面2) 》

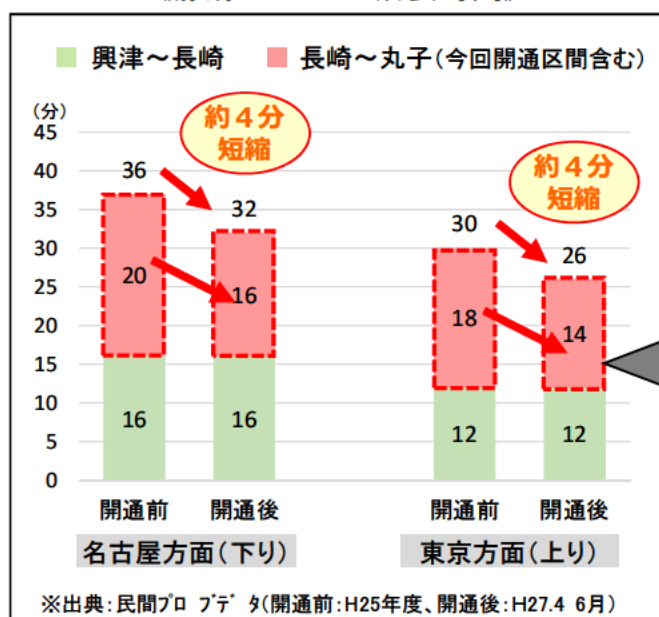


※ H11: 道路交通センサス交通量
H25・H27: トラカン交通量

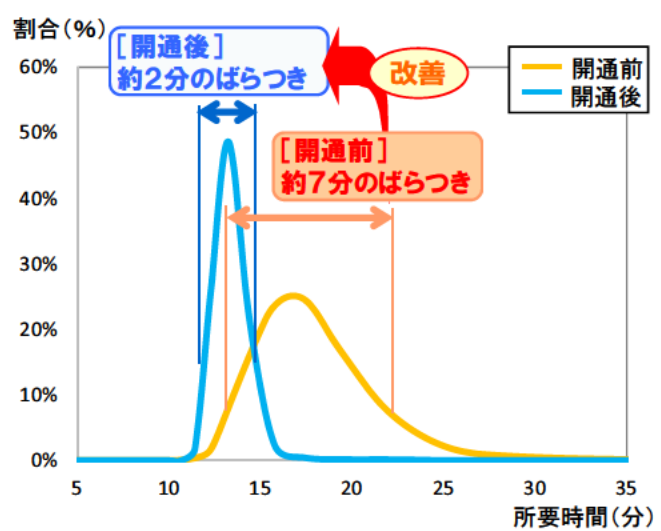
H27年3月開通による 交通状況の変化

- ・静清バイパス利用時の所要時間が約4分短縮し、今回開通区間（上り）では、所要時間のばらつきが約5分改善されました。
- ・また、静岡市街の平均旅行速度が約21%向上し渋滞が緩和したことに伴い、静岡地域全体の速度サービス水準が向上しています。

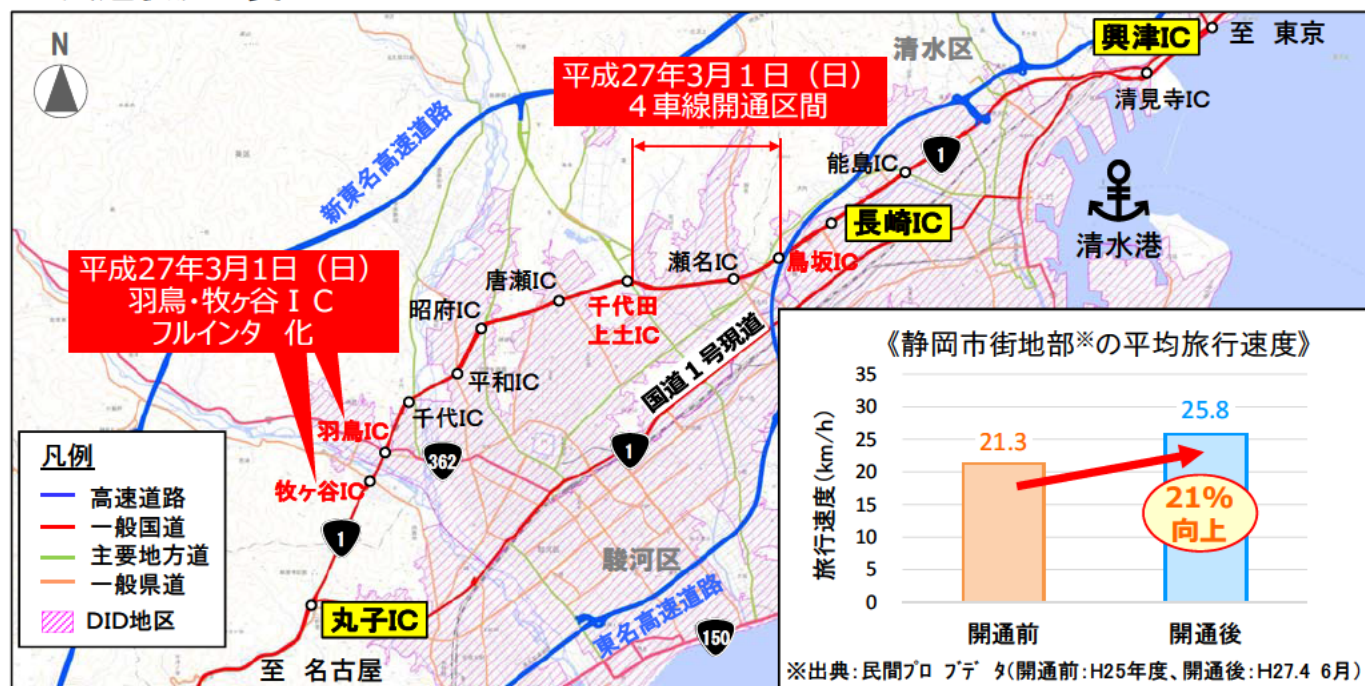
《静清バイパスの所要時間》



《丸子IC⇒長崎IC間(上り)の所要時間のばらつき》



○交通状況の変化



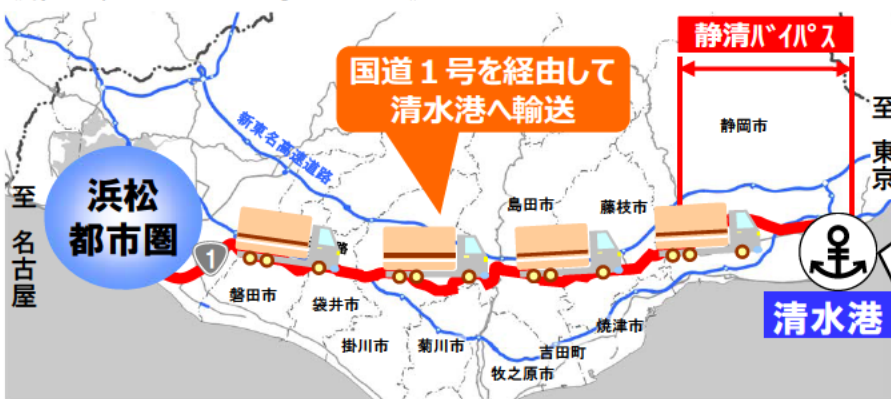
ストック 効果

効率的な輸送に貢献！

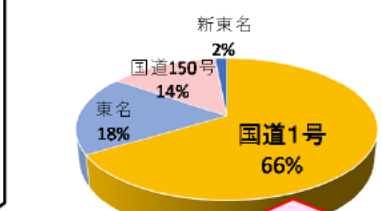
- ・清水港の取扱い貨物は、約 7 割が静岡・浜松方面に集配されており、その主要経路として国道 1 号を利用しています。
- ・清水港取扱貨物の主要な生産地である浜松方面への日当り輸送回数は増加しており、静清バイパスが効率的な輸送に貢献しています。

■ 県内物流を支える国道1号

《静岡県内の国道1号バイパス》



《清水港関連車両の利用経路》



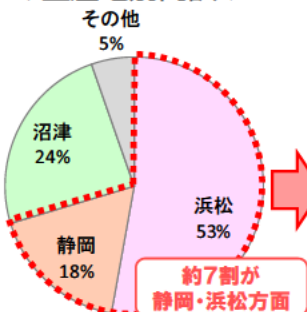
清水港発着貨物のうち、
約 7 割が国道 1 号を利用※

※商用車プロ プデ タ(H27.5月)より集計
※清水港発着貨物車両のうち、静岡県内に起終点を持つ車両のみを抽出

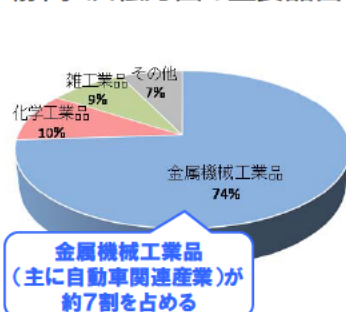
○清水港取扱貨物量の主要品目

金属機械工業品（自動車関連産業）を中心に
約 7 割が静岡・浜松方面から輸送

＜生産地別内訳＞



＜静岡・浜松方面の主要品目＞



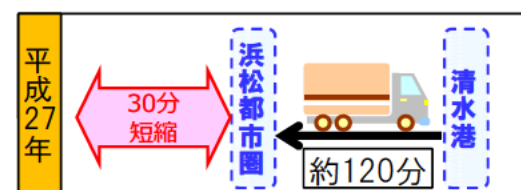
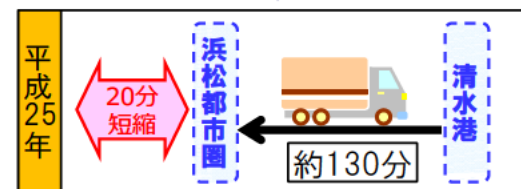
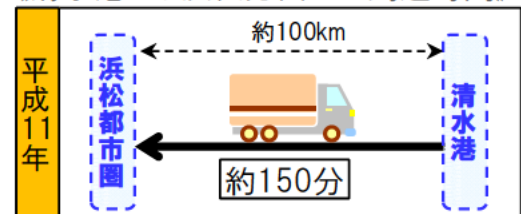
※出典：H25コンテナ貨物流動調査

～県内大手物流企業の声～

- ・トラック輸送においては、コスト管理の観点で、1日に何往復できるかが重要となります。
- ・例えば、浜松～清水間は、以前は3往復/日程度でしたが5往復/日の輸送が可能になり、ドライバー不足、勤務時間短縮に効果がありました。
- ・また、輸送時間の短縮は、ドライバーの負担軽減にも繋がります。

※物流企業へのヒアリング調査結果より

《清水港から浜松方面への到達時間》



※H11：道路交通センサス

H25・H27：民間プロ プデ タ(H25年度、H27年4 6月)

※到達時間には、積荷・積卸時間を含んでいない

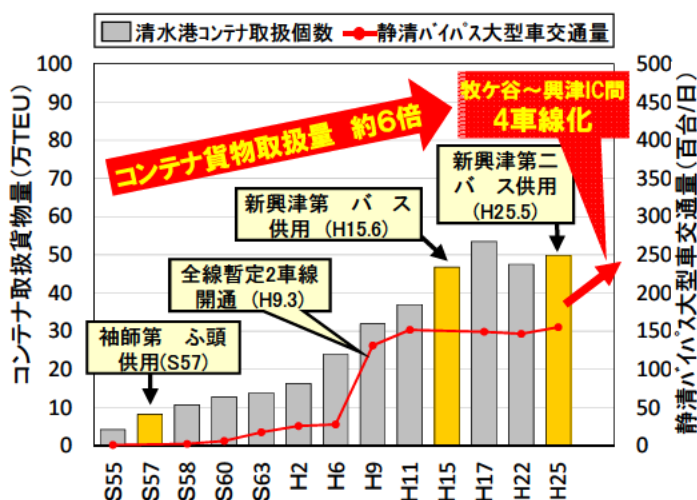
ストック 効果

清水港の物流を支援！

- ・静清バイパスと清水港の整備があいまって、清水港のコンテナ貨物量は30年で約6倍に増加しています。
- ・静清バイパスを含む国道1号バイパス沿線には、新たな物流拠点が立地しており、静清バイパスが清水港からの物流を支えています。

■ 交通基盤の有利性を活かした物流

《静清BP大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移》



資料：清水港港湾統計等

《静清バイパスと清水港コンテナターミナル》

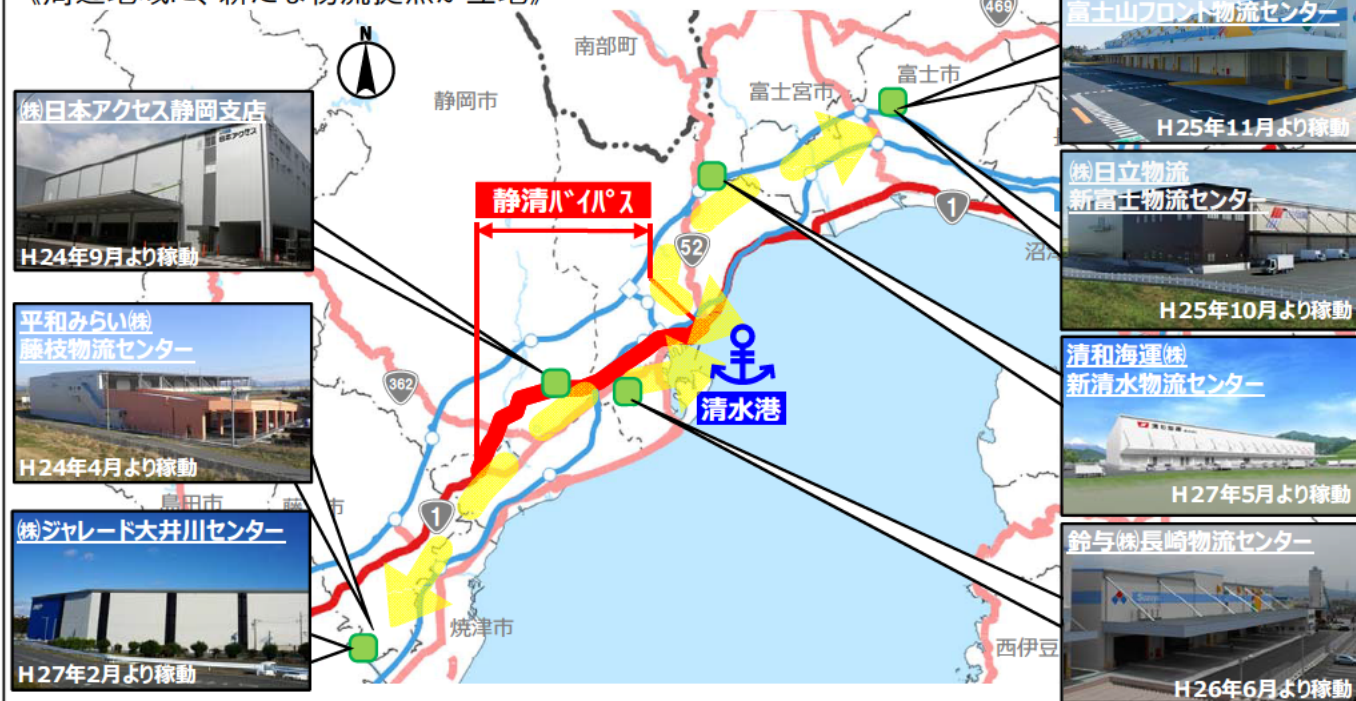


～ヒアリング企業の声～

- ・輸送時には国道1号バイパスを利用していますが、輸送時間が短縮することでコストが抑えられるため、企業にとって 大きなメリットになります。

※物流企業へのヒアリング調査結果より

《周辺地域に、新たな物流拠点が立地》



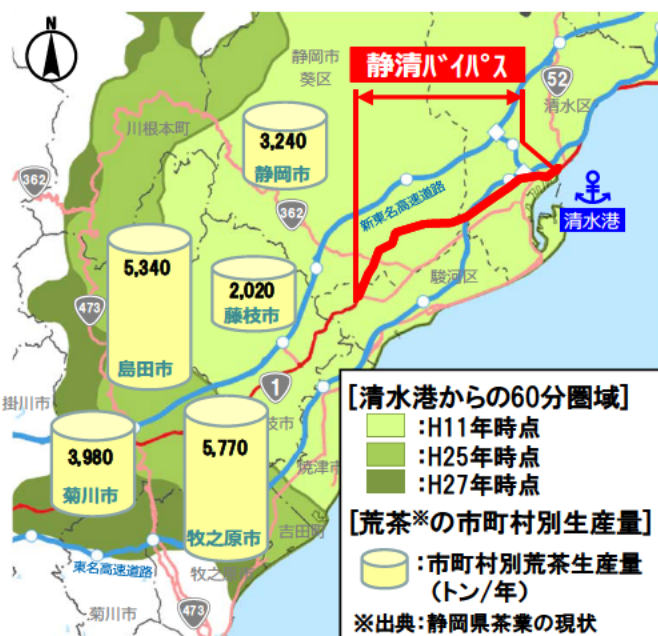
ストック 効果

静岡の「緑茶」を 世界に発信！

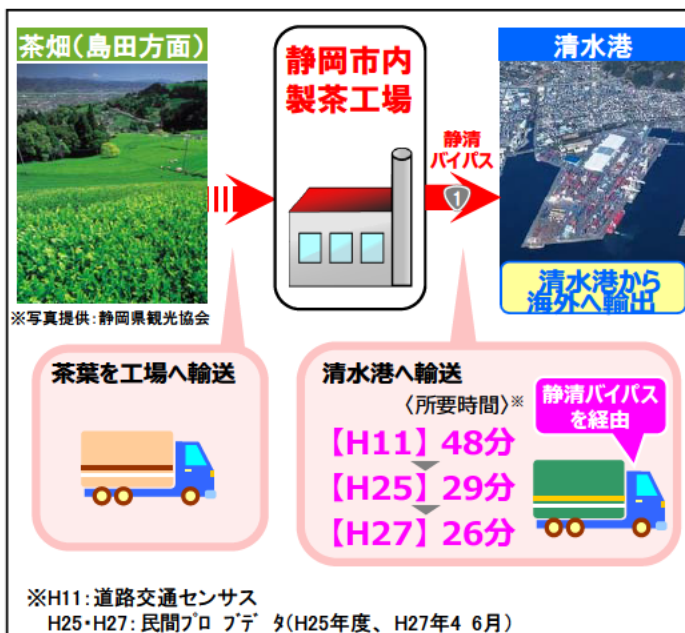
- ・静岡県は全国 1 位の緑茶生産量を誇り、近年、海外への輸出が大きく増加しています。
- ・静清バイパスの整備によって、緑茶生産地から清水港への所要時間は大幅に短縮しており、静清バイパスが静岡の緑茶輸出に大きく貢献しています。

■ 静岡の「緑茶」が清水港から世界へ

《清水港背後圏の変化》



《緑茶の海外輸出の流れ》



《静岡市内にある製茶企業の声》

- ・島田方面から仕入れた緑茶を清水港へ輸送する際に、静清バイパスを利用しています。
- ・今回開通により、清水港への輸送時間は短くなり利便性が向上しました。

※開通後の企業ヒアリング調査結果より

《清水港からの緑茶輸出量の推移》



～ 静岡の緑茶をPR！ ～



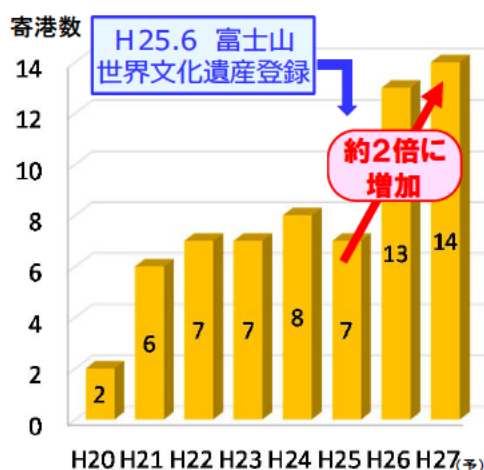
ストック 効果

外国人観光客を おもてなし！

- ・清水港の外国客船寄航数は、富士山の世界文化遺産登録と清水港客船誘致委員会の活動があいまって、大幅に増加しています。
- ・県内観光資源へ向かう路線の結節点である静清バイパスが、外国客船乗客による主要観光地への日帰りバスツアーなどの新たな観光交流を支えています。

■ 清水港の外国客船等の寄港について

《客船等寄港数の推移》



《寄港待ちの日帰りツアーバス》



《乗車待ちの外国人観光客》



《寄港客船による経済効果》

清水港へのクルーズ船等寄港による経済効果
寄港1回で6400万円！

清水港へのクルーズ船入港による経済効果は約8.3億円

クルーズ船等13隻(平成26年度)の入港で
経済波及効果は 約8.3億円※1
1隻換算で 約6,400万円※2

※1 直接効果(乗客・乗組員・乗客の消費支出、オプションツアー料金、飲食・娯楽・宿泊・交通・通信・小売・サービス・観光・教育・文化・医療・福祉・その他)の合計
※2 乗客1人1日あたり約4000円/人・日
※3 クルーズ船等とは、外国客船(国内客船)を指す
※4 観光客(乗客)の消費支出は、観光客の消費支出に占める観光客の消費支出の割合を指す

※ 出典：静岡商工会議所報2015年7月号

■ 新たな観光交流を支える道路網

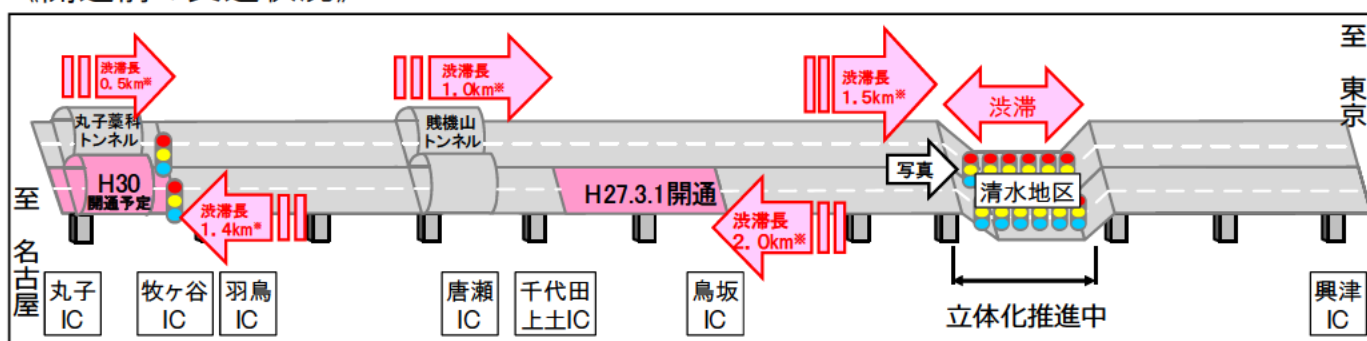


今後の期待

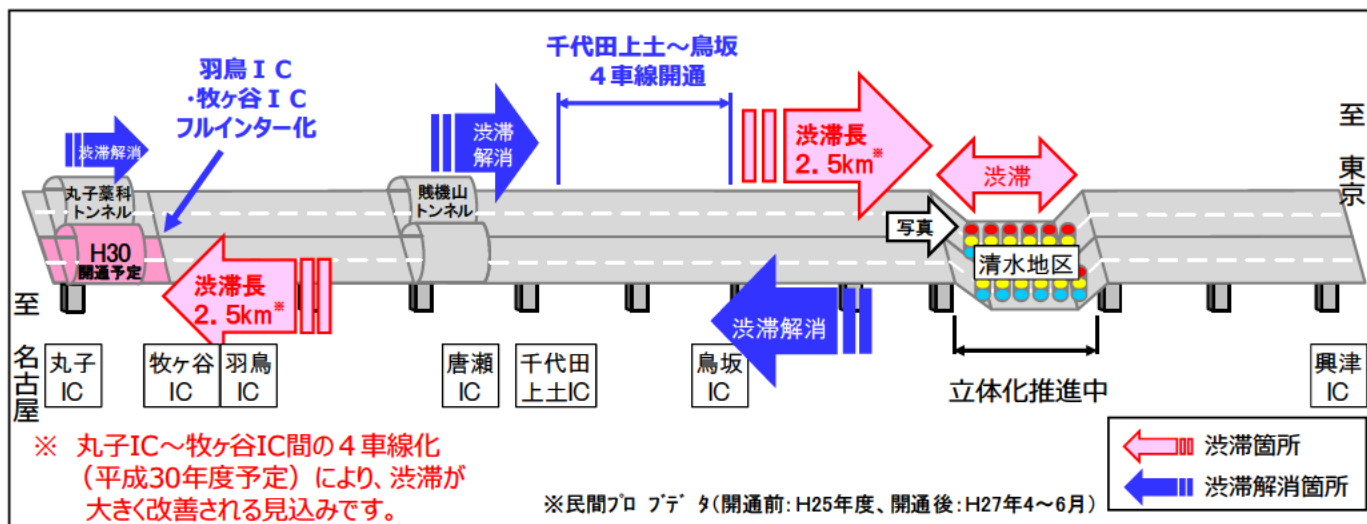
全線4車線立体化へ 高まる期待！

- ・今回開通により牧ヶ谷IC（上り）、千代田上土IC（上り）、鳥坂IC（下り）の渋滞が解消しました。
- ・引き続き渋滞が残る区間の全線4車線立体化整備に期待する声をいただいています。

《開通前の交通状況》



《開通後の交通状況》



《全線4車線立体化への期待》

・取引先が焼津方面が多いので、丸子IC～牧ヶ谷IC間を早期開通してほしい。

・朝の通勤時間帯に発生している清水IC周辺の渋滞がなくなると良いです。

※開通後の企業ヒアリング調査結果より

➤ 清水平面区間における渋滞

